

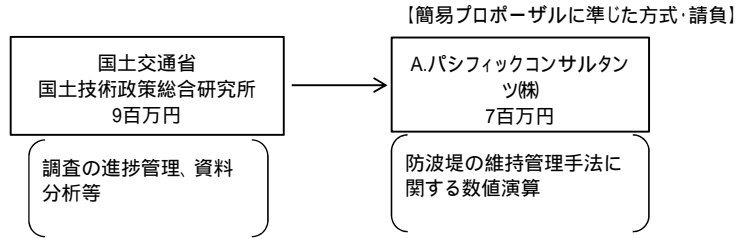
平成23年行政事業レビューシート

(国土交通省)

<b>事業名</b>	作用・性能の経時変化を考慮した社会資本施設の管理水準の在り方に関する研究		<b>担当部局</b>	国土技術政策総合研究所(横須賀庁舎)		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	H21/H24(予定)		<b>担当課室</b>	港湾施設研究室		長尾 毅		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	44 技術研究開発を推進する				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	-				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	防波堤の変状(劣化の累積)やその進行程度,及び当該施設の大規模被災を未然に防止する耐波性能に配慮した上で,補修・補強費と被災時の復旧費の観点から合理的であると考えられる維持管理の方針を立てることができる手法の構築を目指す。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	平成21年:防波堤の性能評価のための観測機器を購入1件 平成22年:防波堤の維持管理手法に関する調査業務1件							
<b>実施方法</b>	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他			
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		当初予算	-	9	9	5	9	
		補正予算	-	0	0			
		繰越し等	-	0	0			
	計	-	9	9	5	9		
	執行額	-	9	9				
執行率(%)	-	100	100					
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		成果実績	単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	防波堤の戦略的な維持管理手法の確立を目的とする。定量的な成果目標については研究のため示すことが出来ない。			達成度	%			
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		活動実績(当初見込み)	単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	防波堤の戦略的な維持管理手法の検討を行う。定量的な活動指標については研究のため示すことが出来ない。						( )	( )
<b>単位当たりコスト</b>	(円/ )		算出根拠	成果実績及び活動実績の定量的な指標が示せないため,単位あたりコストについても示すことが出来ない。				
<b>平成23・24年度予算内訳</b>	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	試験研究旅費	0	0	東日本大震災を踏まえ、耐津波性能に関する検討の追加等により、増額要求となっている。				
	外国旅費	0	0					
	試験研究費	4	8					
計	5	9						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業に対する国総研研究評価委員会の評価結果を踏まえ、研究課題の目的、研究の成果と活用方針、研究体制等の観点から事業内容についても見直しを行うなど、効率的な予算執行に努めていくこととしている。</p> <p>なお、調達については、これまででも入札監視委員会を設置し、契約状況の点検・見直しを行う等の取組を行っており、引き続き、適切な予算執行の確保を図ることとしている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		他機関との連携・情報共有化等を図り、業務の効率化を目指すべき。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>本省や港空研と適切な役割分担を行うとともに、東日本大震災を踏まえ、耐津波性能に関する検討を加え、重点的に事業を実施することとした。</p> <p>東日本大震災を踏まえ、耐津波性能に関する検討の追加等により、増額要求となっている。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

平成22年度実績を記入



旅費 1百万円
諸謝金 98千円

少額のため、千円単位

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

A.パシフィックコンサルタンツ(株)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
その他	直接経費、諸経費、技術経費	4			
人件費	調査職員	3			
計		7	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者について  
 記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	パシフィックコンサルタンツ㈱	防波堤の維持管理手法に関する数値演算	7	1	98.2
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					